令和 8 年度 第 1 回 北海道函館聾学校学校運営協議会 議事録
日　時： 令和 8 年（2026 年）6 月 23 日（火）13:00～14:30
場　所： 北海道函館聾学校 視聴覚室 他
進　行： 教頭 **記　録：**事務局
出席者： 事務局 4 名、委員 9 名、オブザーバー1 名

1. 開会
定刻より開始。

2. 学校長挨拶
飯出校長より、2 年目の体制に向けた挨拶があった。昨年度に創立 130 周年を終え、これからの 5 年、10 年を見据えた「不易流行」の精神での学校改革、および予測困難な時代に対応した教育課程の見直しについて述べられ、委員へ忌憚のない意見を求めた。

3. 出席者確認及び自己紹介
事務局（教頭、事務長、担当教諭）および各委員の自己紹介が行われた。また、オブザーバー(渡島教育局)の紹介が行われた。

4. 辞令交付
新任委員への辞令交付について、事務手続きの関係で届き次第順次行う旨が報告された。

5. 北海道函館聾学校学校運営協議会 会則について
事務局より、昨年度からの変更点がないことが確認された。

6. 会長及び副会長の選任
事務局の提案により、会長・副会長が選任され、委員の拍手をもって承認された。

7. 協議・連絡報告
＜協議＞
（1）令和 8 年度学校経営方針について / （2）グランドデザインについて
飯出校長より、経営理念・ビジョン「**声が響き 手話が弾む ～すべては子どものために、そして保護者に寄り添い、地域とともにある学校～**」が示された。重点項目として、実物・実体験の重視、言語活動の充実、学校 DX の推進、ウェルビーイングの実現など 8 項目が説明され、承認された。

◯質疑
・学校安全、校舎の老朽化や学校 DX 化への対応には予算が必要。道に対して必要な投資をしっかりと要望していくことが大事ではないか。

→道財政が厳しいのは承知しているが、施設設備への投資については必要感を訴えていく。

～5 時間目授業参観・施設見学～

（3）令和 8 年度教育活動について

事務局より、各学部の活動が報告された。

＜連絡報告＞

（1）函館聾学校ボランティアバンクについて

現在までに約 **80 名が登録**（72 名が実働準備中）しており、運動会の石拾い、絵本の読み聞かせ、発音明瞭度検査の聞き取りなどで多大な協力を得ていることが報告された。

（2）今年度の協議会の予定について

第 2 回（11 月 11 日)、第 3 回（2 月 12 日）の日程案が提示された。日にちが近くなったら再度連絡する。

---

8. その他（感想・意見交換）

- 手話の奥深さについて書かれた「手の言語学」についての紹介。校区にサーファーが集まることで新入生の数を維持できた青柳小学校の事例を引き合いに、大人が予想できないところに子どもたちの良さが隠れているのではないかという感想をもった。学校や子どもたちが持つ可能性を伸ばしていく方針を支持したい。
- 行事を参観するたびに、先生方が熱意をもって指導にあたっていることを感じる。そこに共感した方々がボランティアバンクの増加にもつながっているのではないか。
- 卒業式の答辞で「聾者で良かった、この学校が最高の思い出」という言葉があったことが非常に嬉しく、同窓会としても勇気をもらった。
- 自身の在学時と比べ、地域との交流や支援が格段に広がっていることに感動した。今後もボランティアバンクの活動を周囲にアピールし協力したい。
- 児童生徒会など、生徒が自分の意見を述べる場があり、それを先生方が運営に吸い上げていることが伝わった。また、先生方の働き方改革についても協力できることがあれば提案したい。
- 乳幼児から中学 3 年生まで幅広い年齢層をサポートしている学校の工夫を感じた。ボランティアとの協力により「地域とともにある学校」が具現化されている。
- 授業参観で子どもの温かさに触れるたび、近隣校の保護者に聾学校の授業を参観するよう勧めている。実際に興味をもって足を運ぶ人が増えている。ボランティアバンク登録者が増える中で、「この時間なら協力できる」といった個々の都合に合わせた柔軟な受入体制に安心感を抱いており、ボランティア活動に対するやりがいを感じている。学習に集中するための「体作り（体幹)」の重要性を知り、小さい頃から元気に育っている子どもたちを見て、先生方が発達年齢に応じた体力作りに取り組まれていることを嬉しく思っている。
- 子どもがのびのびと過ごし、先生方が子どもに寄り添った授業をしてくれているのが印象的だった。学習の中で子どもが考える場面を与えていて、思考判断の力が身に付くと感じた。このよう

な校風や生活環境を維持できるように協力していきたい。

- 委員の方々と子ども達の距離が非常に近く、驚いた。また、委員から「働き方改革」を後押しする意見が出るなど、非常に素敵なコミュニティ・スクールだと感動した。

9. 閉会